

認知に至った経緯等を記載した申述書

この度、私(氏名 サップマーク ソムポーン、国籍 タイ、子との続柄 母)の実子であり、かつ、父である私(氏名 法務 太郎、子との続柄 父)が認知した子ども(氏名 サップマーク プーリタット、国籍 タイ)の国籍取得にあたり、認知に至った経緯等は下記の通りに相違ありません。

1、父母双方が知り合った経緯

平成 15 年頃、タイ国駐在中に友人より紹介された。

2、子が出生するまでの父母の交際状況

事実上の妻として、同居生活をしていた。

3、子の出生から認知に至るまでの経緯

子は、平成 19(西暦 2007)年 8 月 15 日に出生した。

その後、平成 20(西暦 2008)年 12 月 1 日、タイ国裁判所の命令に基づき、タイ国バンコク都バンラック区役所にて認知登録に至る。

4、認知以後、現在までの交際状況

a.子との同居状況 父と有・無 / 母と有・無

b.子の扶養状況 父と有・無 / 母と有・無

c.子との交際状況 父と有・無 / 母と有・無

その他特記事項

5、父母の婚姻歴等、身分関係の状況

父母の婚姻状況(有・無)

その他特記事項

現在、妻と離婚調停中。

平成 XX 年 1 月 20 日

楷書体で署名して下さい。

(父) 氏名 法務 太郎

(母) 氏名 สมพร ทรัพย์มาก



以上

印鑑(又は拇印)の捺印
*外国人は、印鑑(又は拇印)の捺印
は必要なし。